

令和4年度 学術・調査委員会活動報告

令和4年度上半期活動報告書

担当理事：木下義晶、高橋義行

委員長：笹原洋二

副委員長：家原知子

委員：磯田健志、木下義晶、古賀友紀、五味玲、田尻達郎、成田敦、安井昌博（五十音順）、菊田敦（オブザーバー）

令和4年度上半期の活動報告

1) 症例登録事業の集計と公開

- ・「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」をJCCG固形腫瘍観察研究、JPLSG登録システムとも連携して新規登録システムとして構築し、2018年症例からの症例登録を運用している。今年度は2021年登録症例の集計と公開を行った。

2021年症例：2022年5月31日締め切り

2022年の日本小児血液・がん学会学術集会でポスター報告

HPでの公開

- ・新規登録症例および今年度転帰の入力を学会員・登録施設にメールにて周知徹底した。

2) 疾患登録年次報告体制の整備

- ・2017年から2021年の5年間の学会疾患登録について総括し、本学会誌へ委員会報告として投稿し、受理された。本学会誌59-5号に掲載予定である。
- ・固形腫瘍に関する詳細な年次報告作成のため、WGを当委員会内に設置した。

3) 症例登録事業の倫理審査体制の管理

- ・「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」第4版の内容を学会HP公開に公開している。
- ・学会事務局への施設倫理審査承認書の提出と文書による同意取得の徹底をお願いする周知を登録施設に行った。
- ・施設倫理審査承認済の施設把握のための施設リストの更新を行った。
- ・2021年6月30日の人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（新指針）に従い、中央倫理一括審査が可能となっている。中央倫理一括審査希望施設より申請のとりまとめを行い、理事長施設にて審査を進めている。

4) COVID-19に関するガイダンス、関連論文の調査、HPでの情報提供

各学会、研究組織（COG, SIOP, St Jude HP, ASH など）からのガイダンス、statementの翻訳、小児血液・がんに関する論文の要約を行い、HPで公開している。

5) 関連研究班との事業

厚生労働科学研究班「全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究班（平田班）へ小児がんに関連する学会として出席し、情報交換を行っている。

6) 疾患登録データ利用申請への対応

- ・2022年10月に利用申請が2件あり、メール審議の上、承認とした。うち1件は研究審査委員会への申請と理事会承認を依頼した。
- ・研究審査委員会への申請が必要な内容に対して、同委員会と連携して手続に関する内規の整備を行った。

7) 複数学会での共同研究依頼への対応

2022年10月に当学会および日本先天代謝異常学会との共同研究の依頼が1件あり、メール審議の上、承認とした。その後研究審査委員会への申請と、理事会承認を依頼した。

今後の活動計画

1) 症例登録事業の2022年度の集計と公開

- ・2022年登録集計を学術集会報告およびHPにて公開する。
- ・新規登録および転帰の入力の徹底を学会員・登録施設へお願いする。

2) 固形腫瘍、血液腫瘍登録症例の年次報告の作成と公開

- ・登録項目に基づいた解析について血液腫瘍・非腫瘍性疾患、および固形腫瘍のWGにて検討を進める。

3) 症例登録事業の倫理審査体制の管理

- ・施設倫理審査承認済および中央倫理一括審査申請済の施設把握のための施設リストの更新を行う。
- ・施設倫理審査および中央一括倫理審査の管理を継続する。

4) COVID19 関連のHPでの情報公開の継続

5) 関連班研究との連携

6) 疾患登録データ利用申請等への対応